平成26年度は 骨格予算（こっかくよさん） を編成

平成26年度の町の予算は、3月に町長選挙が行われたことから、選挙後に政策予算を組むため、『骨格予算』を編成し、3月の定例町議会で可決されました。

骨格予算とは

本来予算は、その年度のすべての歳入・歳出で編成されるものです。しかし、町長選挙が行われる場合は、政策的な判断ができにくいため、義務的経費や継続的事業を中心に計上し、新規事業・投資的経費などの『政策的経費』は計上せずに編成します。このような形で作成される予算を『骨格予算』といいます。

予算編成の流れ

骨格予算の編成
↓
３月議会上程、議決
↓
政策的経費予算の編成
↓
６月議会上程、議決
↓
実質の平成26年度予算成立

骨格予算編成の基本的な考え方

○新規事業は原則計上しないこととしていますが、緊急性が高く、町民生活に影響が出る事業等は、年間の所要見込額を計上します。

○義務的経費（扶助費、人件費、公債費）、複数年にわたる契約を締結している事業、施設の修繕費など、毎年の行政運営に必要不可欠な経費は、年間の所要見込額を計上します。

○年度当初（４月～７月）に事業を行わなければ事業の執行に支障をきたす経費は、年間の所要見込額を計上します。

会計別予算額

会計	平成26年度予算	前年増減	前年対比
○ 一般会計	106億3,000万円	８億1,000万円	8.2%
○ 特別会計	40億3,846万円	△ ３億192万円	△ 7.0%
国民健康保険事業特別会計	17億9,629万円	△ 192万円	△ 0.1%
後期高齢者医療事業特別会計	１億6,941万円	1,307万円	8.4%
国民健康保険診療所事業特別会計	１億6,900万円	1,251万円	8.0%
介護保険事業特別会計	11億4,811万円	428万円	0.4%
介護老人保健施設事業特別会計	０円	△ ２億8,004万円	△ 100.0%
簡易水道事業特別会計	7,215万円	296万円	4.3%
下水道事業特別会計	６億8,350万円	△ 5,278万円	△ 7.2%
○ 公営企業会計	24億7,816万円	７億427万円	39.7%
水道事業会計	５億7,339万円	△ 8,883万円	△ 13.4%
国民健康保険病院事業会計	19億477万円	７億9,310万円	71.3%

※ 26年度より介護老人保健施設事業特別会計を国民健康保険病院事業会計へ統合しています。

【一般会計・特別会計・企業会計】地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を経理する会計で、特別会計は、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計です。企業会計は民間企業と同様に、利用料金などの事業収益で運営している上水道と国保病院の会計です。

【歳入】地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、会計年度における一切の収入を歳入といいます。

▼**町税**…住民の皆さんに納めていただく税金です。（町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など）

▼**地方交付税**…市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。団体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスが行えるよう、国税として集められた財源の一部を地方公共団体に再配分するものです。

▼**町債**…町の借入金（借金）です。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間に渡って利用できるものの財源に充てられます。

▼**国庫支出金**…市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、負担金、補助金、委託金の３つに分類されます。

▼**道支出金**…市町村が行う事業に対して道から交付されるお金です。

▼繰入金…積立金（基金）の取り崩しや他の会計から繰り入れたお金です。

【歳出（目的別）】地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。

▼**職員給与費**…職員の給料や手当、共済費などの経費です。

▼**公債費**…事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払う経費です。

▼**民生費**…障害者、高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費です。

▼**土木費**…道路や河川、公園、住宅建設など社会資本整備のための経費です。

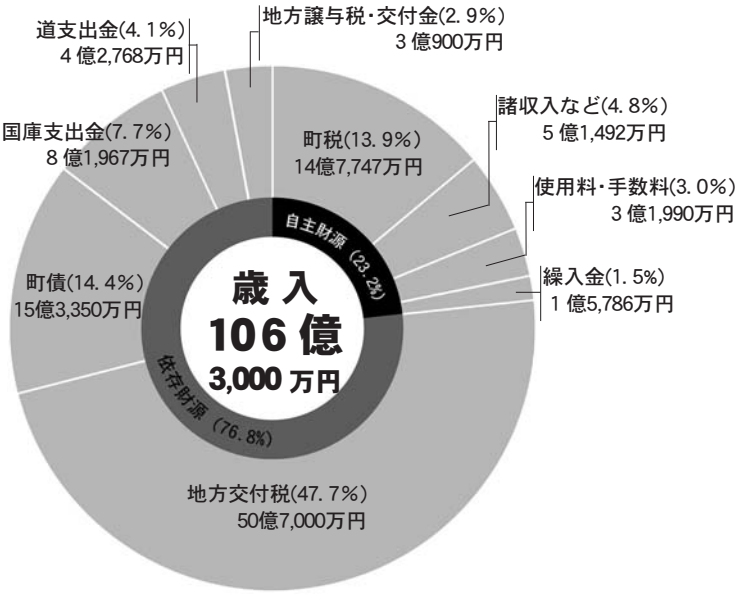
平成26年度一般会計予算は106億3,000万円に

平成26年度の予算編成は、骨格予算のため新規事業や投資的経費などの『政策的経費』は計上せず、義務的経費や継続的事業を中心に編成し、本年4月からの消費税率改正に伴う増税、継続的事業の消防庁舎改築事業、日高高等学校校舎建設事業等により8億1,000万円増額した予算編成となりました。

▶ 一般会計 歳入 2014

一般会計の歳入は、昨年度に比べ８億1,000万円増加し、106億3,000万円となりました。主な増減内容は、町債では日高高校整備事業、消防庁舎改築事業、富川東防災施設整備事業等のため６億1,360万円増、国庫支出金では消費税増税に伴う臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金交付事業や産地水産業強化支援事業等のため１億5,385万円増、道支出金では地域づくり総合交付金の増等により4,947万円増となりました。諸収入では個別受信難視聴対策事業助成金、スポーツ振興くじ助成金等により3,886万減、地方交付税では5,000万円減となりました。

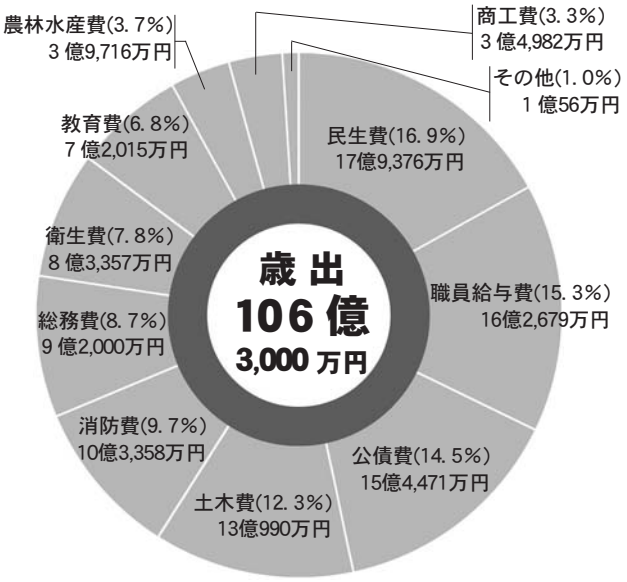
歳入は町税や諸収入、繰入金などの「自主財源」と地方交付税や国庫支出金、道支出金などの「依存財源」に分けられ、自主財源の割合が大きいほど行政の自主性が確保されていることとなります。平成26年度の自主財源は昨年度と比べ4,618万円増加し24億7,015万円となりましたが、普通建設事業による町債等の影響で構成比率は1.4ポイント減少して23.2%となりました。



▶ 一般会計 歳出 2014

一般会計の歳出は、歳入と同様に８億1,000万円の増加となりました。主な増減内容は、民生費では臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金等により2,198万円の増、土木費で公営住宅建設事業等により１億8,821万円の増、消防費で消防庁舎改築事業や富川東防災施設整備事業等により３億3,607万円増、総務費で日高高校校舎建設事業等により２億9,506万円の増、農林水産業費では、産地水産業強化支援事業等により１億6,770万円の増額となりました。公債費では、償還終了に伴う元利金の減により4,985万円の減、商工費では、日高国際スキー場リフト改築事業等により２億539万円の減額となりました。

歳出予算を性質別にみると、人件費や物件費などの義務的経費では３億7,108万円増加し、全体の54.5%（57億5,807万円）を占め、工事請負費や公有財産購入費などの投資的経費は18億9,679万円で全体の17.9%を占めています。



※ 一般会計予算歳出の性質別内訳は次ページに記載しています。

▼**総務費**…行政全般の事務などに関する経費です。

▼**衛生費**…環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。

▼**教育費**…教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。

▼**消防費**…消防組合の負担金や災害対策のための経費です。

▼**農林水産業費**…農林水産業振興のための支援や生産基盤整備等の経費です。

▼**商工費**…商工業や観光振興のための経費です。

▼**議会費**…議会運営の経費です。

▼**災害復旧費**…災害により被災した施設等の復旧のための経費です。

▼**労働費**…労働者の生活安定や雇用支援のための経費です。

▼**予備費**…予算編成で予期しなかった支出に対応するための科目です。

【歳出（性質別）】地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的、投資的、その他の経費に区分されます。義務的経費は、人件費や扶助費など支出が義務付けられているもの。投資的経費は、道路や公共施設の建設などの普通建設事業、災害復旧事業で構成されます。

▼**人件費**…報酬や給与などです。

▼**物件費**…賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。

▼**維持補修費**…道路や公共施設などを維持管理するための経費です。

▼**扶助費**…社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障害者などへの支援のための経費です。

▼**補助費等**…町から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費です。

▼**普通建設事業費**…道路や公共施設の新増設に必要な経費です。

▼**災害復旧事業費**…災害で被災したものを復旧するための経費です。

▼**公債費**…町の借金などを償還するための経費です。

▼**積立金**…行財政を計画的に運営するため、財源変動に備えて積立てる経費です。

▼**繰出金**…一般会計、特別会計との間で、相互に資金運用をするための経費です。